



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月10日

上場会社名 SBSホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2384 URL <http://www.sbs-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 正彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 遠藤 隆 (TEL) 03 (3829) 2222
 四半期報告書提出予定日 2019年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	64,628	73.7	3,837	320.3	3,729	339.7	2,256	345.1
2018年12月期第1四半期	37,201	6.9	912	12.5	848	△8.9	506	△20.8

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 2,529百万円(359.3%) 2018年12月期第1四半期 550百万円(△18.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	56.80	—
2018年12月期第1四半期	12.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	175,163	49,683	23.5
2018年12月期	171,796	48,173	23.1

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 41,230百万円 2018年12月期 39,759百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期は遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	0.00	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	124,000	60.7	4,800	105.3	4,500	101.5	2,600	112.8	65.46
通期	250,000	22.8	9,000	9.2	8,400	10.4	4,800	8.9	120.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年12月期1Q	39,718,200株	2018年12月期	39,718,200株
2019年12月期1Q	534株	2018年12月期	512株
2019年12月期1Q	39,717,679株	2018年12月期1Q	39,717,728株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、倉庫オペレーション、運送、物流不動産の開発などの物流サービスを一括で提供する3PL（サードパーティロジスティクス）を事業の柱としております。

当第1四半期連結累計期間（2019年1月1日～2019年3月31日）は、深刻なドライバー不足が依然として続いているものの、大手宅配事業者で始まった料金適正化の動きが浸透してきたことや、燃料単価が昨年に比して落ち着いていることなどが追い風となり、物流業界の経営環境は総じて堅調に推移いたしました。

このような環境の中で当社の物流事業は3PLを中心に順調に推移しました。これに2018年8月にグループ入りしたSBSリコーロジスティクスの業績が加わったこと、さらに当連結会計年度に予定していた物流不動産の流動化を実施し当第1四半期で収益を計上したことにより、業績は前年同期と比較し大幅に拡大いたしました。

これらの結果、売上高は646億28百万円（前年同四半期比73.7%増）となりました。営業利益は38億37百万円（同320.3%増）、経常利益は37億29百万円（同339.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億56百万円（同345.1%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

（物流事業）

物流事業では、既存事業における料金適正化を進めつつ、高い物流機能を求める新規顧客の取りこみと、物流業務の地道な効率化・安定化に取り組みました。さらには即日配送事業におけるB to B、あるいはB to Cの荷主様の旺盛な需要に積極的に対応することに加え、拡大が目覚ましいEコマースへの対応による物量の増加により業績が堅調に推移しました。

これに、SBSリコーロジスティクスが加わったことで、売上高は570億17百万円（前年同四半期比63.7%増）、営業利益は11億42百万円（同127.5%増）と前年同期に比較して大幅な増収増益となりました。

同社については、倉庫・車両の相互利用、リース等のグループ企業リソースの利用及び国内外における拠点の統廃合や人材交流を積極的に進めてまいります。同社の当第1四半期の業績は売上高は186億12百万円、営業利益は5億67百万円であります。なお、別途四半期あたりののれん等償却額が1億53百万円あります。

（不動産事業）

不動産事業は、開発事業と賃貸事業で構成されております。

開発事業では、グループの3PL事業を推進するために、顧客の物流ニーズに合った大型倉庫を土地の取得から建設まで一貫して行います。賃貸事業は、当社グループが保有する収益物件（倉庫、オフィスビル、レジデンス等）から賃貸収益を得る事業です。当社は、将来の投資に向け物流不動産を流動化し資金を回収しておりますが、流動化に伴い計上する収益は不動産事業に含めております。

当第1四半期では、大阪市住之江区に建設を進めておりましたマルチテナント型の南港物流センター（延床面積18,540坪）が3月に竣工いたしました。物流不動産の流動化では長津田物流センターの30%持ち分を信託受益権の形式で譲渡した結果、業績が大きく伸びました。

売上高は59億66百万円（前年同四半期比732.8%増）、営業利益は27億68百万円（同592.6%増）となりました。

（その他事業）

その他事業の主な事業は、人材派遣事業、マーケティング事業及び太陽光発電事業になります。

特に人材派遣事業の低迷が響き、売上高は16億44百万円（前年同四半期比1.2%減）、営業利益は51百万円（同29.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,751億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億66百万円増加しました。長津田物流センター売却に伴うたな卸資産の減少、南港物流センター竣工による建設仮勘定の減少があったものの、同センターにかかる建物等の固定資産並びに現金及び預金が増加しました。

負債は1,254億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億56百万円増加しました。主として、運転資金需要のための短期借入金の増加及び賞与引当金の繰入れ等によるものです。

純資産は496億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億9百万円増加しました。これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益22億56百万円を計上した一方で、一株当たり22円の配当金総額8億73百万円の支払いが生じたことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期終了時における業績は、前述の物流不動産の流動化を含めて概ね計画どおりに進捗しているため、2019年12月期の連結業績予想につきましては、現段階では2019年2月13日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を変更いたしません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,310	19,428
受取手形及び売掛金	31,807	31,671
たな卸資産	8,221	5,730
その他	5,672	6,166
貸倒引当金	△36	△34
流動資産合計	61,975	62,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,250	55,246
減価償却累計額及び減損損失累計額	△25,782	△26,147
建物及び構築物(純額)	21,468	29,099
機械装置及び運搬具	24,699	25,188
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,253	△13,544
機械装置及び運搬具(純額)	11,445	11,643
土地	41,634	41,665
リース資産	5,971	5,973
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,458	△3,480
リース資産(純額)	2,512	2,493
建設仮勘定	6,633	1,031
その他	5,799	5,900
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,119	△4,199
その他(純額)	1,680	1,701
有形固定資産合計	85,373	87,633
無形固定資産		
のれん	5,739	5,657
その他	5,078	4,938
無形固定資産合計	10,818	10,595
投資その他の資産		
投資その他の資産	14,188	14,537
貸倒引当金	△559	△566
投資その他の資産合計	13,629	13,971
固定資産合計	109,821	112,201
資産合計	171,796	175,163

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,555	13,721
1年内償還予定の社債	80	—
短期借入金	15,500	17,600
1年内返済予定の長期借入金	9,887	10,395
未払法人税等	1,939	1,561
賞与引当金	1,390	2,817
その他	16,140	15,769
流動負債合計	58,493	61,865
固定負債		
長期借入金	47,371	46,030
退職給付に係る負債	6,073	6,110
その他	11,685	11,473
固定負債合計	65,130	63,615
負債合計	123,623	125,480
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,920	3,920
資本剰余金	2,651	2,651
利益剰余金	32,750	34,133
自己株式	△0	△0
株主資本合計	39,322	40,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	744	793
為替換算調整勘定	△114	△103
退職給付に係る調整累計額	△193	△164
その他の包括利益累計額合計	436	525
非支配株主持分	8,414	8,453
純資産合計	48,173	49,683
負債純資産合計	171,796	175,163

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	37,201	64,628
売上原価	33,821	56,857
売上総利益	3,379	7,771
販売費及び一般管理費	2,466	3,933
営業利益	912	3,837
営業外収益		
受取利息	4	8
受取配当金	1	15
持分法による投資利益	43	—
違約金収入	—	50
固定資産受贈益	—	61
その他	36	34
営業外収益合計	86	169
営業外費用		
支払利息	110	171
その他	40	105
営業外費用合計	151	276
経常利益	848	3,729
特別利益		
固定資産売却益	29	38
特別利益合計	29	38
特別損失		
固定資産売却損	9	2
固定資産除却損	6	9
特別損失合計	15	12
税金等調整前四半期純利益	861	3,755
法人税、住民税及び事業税	601	1,777
法人税等調整額	△276	△412
法人税等合計	325	1,365
四半期純利益	536	2,389
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	133
親会社株主に帰属する四半期純利益	506	2,256

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
四半期純利益	536	2,389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	116
為替換算調整勘定	△26	9
退職給付に係る調整額	15	36
持分法適用会社に対する持分相当額	29	△21
その他の包括利益合計	14	140
四半期包括利益	550	2,529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	521	2,344
非支配株主に係る四半期包括利益	28	184

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	34,821	716	1,663	37,201	—	37,201
セグメント間の 内部売上高又は振替高	136	—	31	167	△167	—
計	34,957	716	1,695	37,368	△167	37,201
セグメント利益	502	399	72	974	△61	912

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去10百万円及び各報告セグメントに配分していない当社に係る損益△72百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	57,017	5,966	1,644	64,628	—	64,628
セグメント間の 内部売上高又は振替高	87	24	81	192	△192	—
計	57,105	5,990	1,725	64,821	△192	64,628
セグメント利益	1,142	2,768	51	3,962	△125	3,837

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去11百万円及び各報告セグメントに配分していない当社に係る損益△136百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。